

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスリバティ伊丹教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日	～	2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年11月4日	～	2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月27日		
○分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(作業療法士・理学療法士)や経験豊富な保育士・児童指導員が多数在籍し、日々の支援プログラムを作成・実施している。	プログラムが固定しないよう、また児童が楽しく参加でき達成感を毎回感じられるよう、参加児童によって難易度や時間設定を調整し、遊びを通して学べるプログラムを作成・実施している	職員間で様々なアイデアを出し合い、活動内容を検討していく
2	専門職(作業療法士・理学療法士)による運動療育を利用者さんの課題に合わせて実施することができ、結果が出やすい	専門職によるアセスメントを行い、達成できる目標を立て取り組んでいる。利用者さんが楽しく飽きないプログラムになるよう、一人一人のお子さんの目線に合わせた教材を準備している	職員間で情報共有を行い、活動内容を充実させていく
3	集団療育と並行して個別療育を行っている	集団活動と個別活動のそれぞれの目的を職員が把握し、発達段階に合わせた個別課題に取り組んでいる	職員間で情報共有を行い、活動内容を充実させていく
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段が狭く急なことと、玄関周辺が狭く保護者様が送迎の時間帯に危険なことがある	建物の構造上、通路や階段の広さが十分でなく、通行がしつらいことがある。	送迎の時間帯など、人の出入りが多くなる時間帯は、玄関周辺に人がたまらないよう時間をずらしてもらうなど声掛けを行っている。 室内に入ってもらい報告を行うなど、玄関周りに人が溜まらないよう声掛けを行っている
2	今年度はご家族様に向けたイベントや交流の場を提供できなかった。また、地域との交流の機会も持つことができなかつた。	職員の異動などがあり、企画・実施が難しかった。	年間スケジュールを立て、実施していく。 実施方法・内容について時期を決めて話し合う。
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エントランスリバティ伊丹教室				公表日	2026年1月24日	
					利用児童数	2025年12月1日 52名	回収数 45
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	5		2	大丈夫と思う
環境・体制整備	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	43	1		1	職員が多いと感じる 職員が少なくて手が足りない時もある と思うけど大丈夫と思う
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	6		3	子どもは楽しくなるような建物だと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	3		1	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44	1			いろいろな資格や経験のある先生がおられて安心です
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44	1			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44	1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	1		2	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	1		1	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43	2			いろいろな活動を用意してくれていると思う
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	5	10	22	多分あったと思う
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	1		1	契約時に説明があった
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	35	5	1	4	今年度はほとんど実施できなかったので、次年度実施に向けて準備していく
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	43	1		1	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	2		1	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	11	1	11	保護者同士の交流は時々あってうれしい。 兄弟の交流は参加したことがない
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	44	1			何かあれば相談できる場だと感じる
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1		2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	4		6	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1		2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	4		6	階段が狭く危ない時があるけど、仕方ありません
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	2	1	13	定期的に行っている
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われているだと思いますか。	35	3		7	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	2		5	事故が発生したことがない
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	1			毎回楽しく参加してのびのび活動している
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	2			家から遠いので疲れたり宿題が多い時は休みがちになる 子どもが楽しみにしている
	29	事業所の支援に満足していますか。	44	1			訪問支援や面談もあり手厚くて親も安心です。 尼崎から通っていますがそれだけの価値のある事業所だと思っています。支援内容や先生方の対応にも満足し感謝しています。

						(別紙5)	
	公表 事業所における自己評価結果						
事業所名	エントランスリバティ伊丹教室			公表日	2026年 1月 24日		
	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3			曜日によって、人数に対して活動スペースが不足することがある	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1			利用者の人数・特性によって職員を追加することが難しい日は適切でないと感じることがある	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	レイアウトを変えたり限られた環境の中で努力している		建物の構造上バリアフリーは難しい	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2			パーテーションで対応する場合あり。個別は部屋の確保が難しい	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9					
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを使ったフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9					
関係機関や保護者との連携	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9					
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9					
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9					
保護者への説明等	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1			毎日は難しいこともある	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9					
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9					
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	2				
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9					
非常時等の対応	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2				
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4				
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	4			訪問支援利用者の一部に情報共有されている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4				
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3				
非常時等の対応	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてステークホルダーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9					
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		9				
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9					
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	4				
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9					
非常時等の対応	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9					
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9					
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9					
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9					
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2			以前は活発にしていた	
非常時等の対応	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9					
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9					
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9					
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9					
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9				
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9					
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	9					
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9					
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9					
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9					
非常時等の対応	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9					
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9					
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9					
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9					